

ボランティア活動推進協議会検討の進め方（案）

1 協議会の目的

いたばし総合ボランティアセンターの運営に関するビジョンを策定する

区民・NPO法人・社会福祉協議会・板橋区の四者協働により、ボランティアおよびNPOの自主的・自発的な社会貢献活動を総合的に推進・支援する中間支援組織として設置・運営されている「いたばし総合ボランティアセンター」（以下「センター」という）の今後の運営方針等を本協議会にて検討し、センターのビジョンを策定する。

※なお、「（仮称）いたばし総合ボランティアセンター」設置に関する基本構想」（資料1-5）が現在、センターの運営ビジョンとなっているが、策定から18年たっているため、新たなビジョンを本協議会で検討していく。

2 策定の経緯

○令和2年度～3年度

「センターあり方検討会」にてセンターの将来像（案）を策定（資料1-6参照）

○令和4年度

センターの将来像（案）をボランティア活動推進協議会へ提言（本会）

3 検討内容

- いたばし総合ボランティアセンターあり方検討会（令和3年11月最終報告）で提案された将来像「区民活動の多様性を活かし、地域と共に歩むいたばし総合ボランティアセンター」をもとに「あるべき姿」を定める。
- 運営体制を中心に規定している現行の基本理念を見直し、将来像の実現に向けて設置の目的や理念を規定するものに改める。
- 現行の基本理念から独立し、センターの運営体制に関する方針を定めるとともに、別途具体的な運営方法（ネットワークの構築、地域還元、相談要望への対応、新規分野の掘り起こし）を検討する。
- センターにおける事業が、将来像や基本理念に適合しているか進捗を管理するとともに、事業評価のあり方について検討する。
- センターの区民認知度の改善策や様々なボランティアのあり方や地域課題に触れ、地域還元できる仕組みや活動を検討する。

4 検討の方向性

（1）改正目的

四者協働の枠に縛られずに、目的・目標が合致する活動については協働相手とする。

➡活動の多様性を認め、ボランティア・市民活動の裾野が広がる支援を行う。

（2）議論視点

- ① 区内でボランティア・市民活動するあらゆる団体が活動の多様性を尊重し協働する。
- ② 地域課題の解決に向けて活動できる環境の整備

(3) 各委員様への投げかけ

- ① センターへの誘導方法（協働のきっかけ作り） ➡ ネットワーク強化の検討材料
※この場合の協働とは、センターとの協働を指す（①ネットワーク化の連携②センターとの事業連携、③運営委員会・実行委員会等への参画など）
- ② 地域課題の解決に向けての活動への支障は何か ➡ センターの支援方法の検討材料
※ヒアリングシート作成

5 検討体制

(1) ボランティア活動推進協議会（以下「協議会」）

- ① 検討事項
ボランティア活動推進ビジョンの施策全般の検討・決定
部会への検討課題の下命
- ② 委員
委嘱を受けた 20 名以内の委員により構成
- ③ 検討の進め方
センターの将来像の実現に向けて、基本理念、運営方針などの概念を決定するとともに、部会への検討課題の下命及び部会からの報告（素案）について検討し、決定する。

(2) ボランティア活動推進協議会専門部会（以下「部会」）

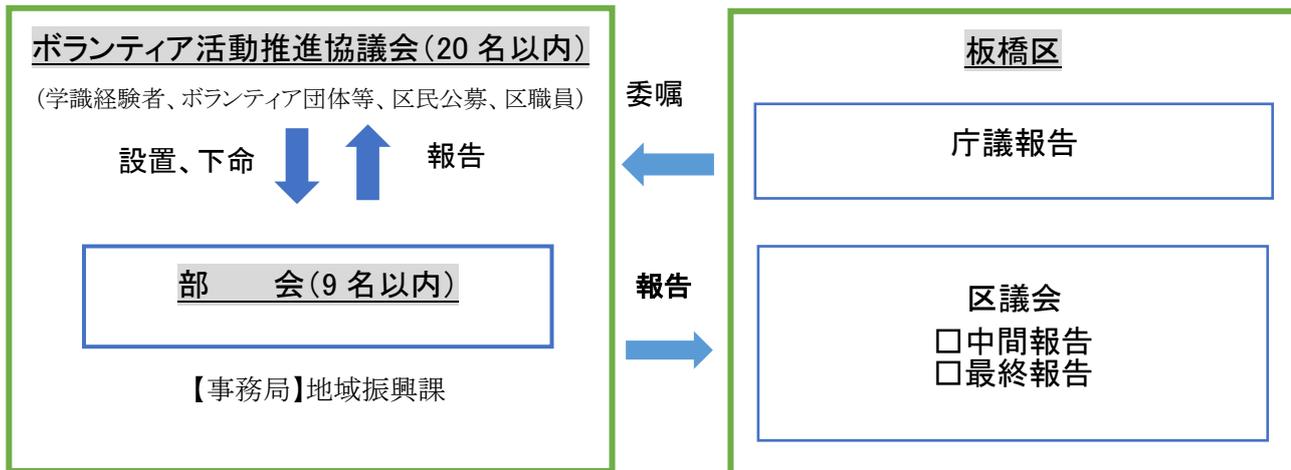
- ① 検討事項
協議会からの下命を受けて、将来像の実現に向けての具体的な方策を検討する。
- ② 委員
協議会委員から会長が指名し、9 名以内により構成
- ③ 検討の進め方
ア 協議会での検討に必要な事項の調査及び調整を行う。
イ 部会で検討した結果を取りまとめ、ビジョンの素案を作成し、協議会へ報告する。

(3) センター役員会・運営委員会への報告

(4) 区議会への報告（中間報告・最終報告）

- ① 中間報告 令和 5 年 10 月
- ② 最終報告 令和 6 年 2 月

< 検討体制図（イメージ） >



6 協議会及び部会における主な検討事項（予定）

検討分野	協議会検討分野	部会検討分野
①将来像 ②基本理念	①②あり方検討会での提言された将来像・基本理念について、再確認を行い、新ビジョン(案)を決定する。 【第2・3回協議会】 ※課題ヒアリングシート	①②協議会において、委員からの意見などにより新たな検討や修正が必要になった場合に、協議会の下命を受けて素案を作成する。 【第1・2回部会】 ※課題ヒアリングシート
③運営方針・運営方法	③将来像の実現に向けての、運営方針や運営方法の概要(項目)を決定する。 【第3・4回協議会】	③具体的な運営方法を検討し、素案を作成する。 【第2・3回部会】
④進捗管理・評価	④進捗管理・評価実施の有無及び実施時のスキーム 【第4・5回協議会】	④進捗管理・評価の具体的な方法 【第3・4回部会】
⑤ボランティア活動の広がり・促進するための方策	⑤課題の洗いだし(全般) 【全体を通して】	⑤課題解決の方向性・事業計画への反映 【全体を通して】

7 今後のスケジュール（予定）

月	区・ボラセン	協議会	部会
8月	運営委員会・役員会 進捗状況随時報告	2日(火) 第1回協議会開催	
9月		20日(火) 第2回協議会開催	
10月			中旬予定 第1回部会開催
11月		22日(火) 第3回協議会開催	
12月			中旬予定 第2回部会開催
R5年 1月			
2月		上旬 第4回協議会開催	下旬 第3回部会開催
3月			
4月			
5月		上旬 第5回協議会開催	下旬 第4回部会開催
6月			
7月			
8月		上旬 第6回協議会開催	下旬 第5回部会開催
9月	運営委員会・役員会 中間報告		
10月	区議会 中間報告		
11月		上旬 第7回協議会開催【最終案提示】	
12月	運営委員会・役員会 最終報告		
R6年 1月			
2月	区議会 最終報告		
3月			
4月	新ビジョンに基づく運営 スタート		

部会の開催時期・回数は予算、検討状況により、変更することがある。

課題ヒアリングシート

～地域課題(日頃活動されている時)の解決に向けて取り組んでいる時支障となるものは何ですか?～

① 活動名 (例: 傾聴ボランティア、子ども食堂など)	
② 活動内容	
③ 活動時の課題 (問題点) ※解決の妨げや苦慮するもの、活動の妨げとなるもの	
④ 望ましい姿 (解決策)	
⑤ 解決に必要な資源 (ひと・かね・もの)、他分野との協働の可能性	
⑥ ボランティアセンターの支援・関与 ※どのような支援やかかわりがあると望ましいですか。	
【事務局処理】 (A) ネットワーク (B) 地域還元 (C) 相談・要望 (D) その他	【備考欄】

委員名 _____